



白川郷荻町集落の自然環境を守る会 発行 令和3年4月号

令和3年度 守る会の活動方針

守る会会長 和田 正人

本年度は、守る会設立50年の節目の年。先人先輩方のご尽力に感謝し、これまでの50年を振り返るとともに、現在そして今後起こりうるであろう課題に向き合い、次なる50年につなぐ一年にします。またコロナ禍の中、住民の健康安全を優先し、出来ること出来ないことを判断して取り組みを進めます。区民会員の皆様のご支援ご理解ご協力を、よろしくお願い申し上げます。

守る会活動スローガン ～ 守る・くらす・つなぐ ～

- ① 守る：住民憲章を基盤とした、世界遺産である合掌家屋と農山村の景観保全
- ② くらす：結の精神が根ざした共同体と、景観に調和した豊かな住民生活の向上
- ③ つなぐ：故郷から学び、国内外の交流から学び、未来への継承者を育成

1. 組織の強化と各種団体との連携

- ・各組・各種団体選出の委員が代表者として責任を持ち、組・団体内への定例会の報告や意見要望を把握し、区民全体の守る会となるよう努めます。
- ・現状変更申請に関わる審議を適正に行い、景観保全にむけた充実した話し合いを進めます。
- ・各種団体との連携を密にし、「世界遺産マスタープラン」の具現化にむけた取り組みを行います。

2. 「守る」に関わる重点活動

- ◎ 茅の自給率向上を目指す「第6回秋の茅刈りイベント」にむけ、教育委員会・日本ナショナルトラスト・合掌家屋保存組合と協力し、茅の質の向上に努めます（11月13日開催予定）。
- ・仮設を含めた店舗の景観や農地の保全、休耕地の復原にむけて、営業者・住民との話し合いを継続すると共に、合掌財団等の協力を得ながら、世界遺産に相応しい農村集落の維持に努めます。
- ・休耕地の草刈りやオオハンゴンソウ・オオキンケイギクの除去に取り組みます。
- ・トタン屋根塗料補助やオダレの助成、センガ岩倉庫の活用継続して取り組みます。

3. 「くらす」に関わる重点活動

- ◎ 「荻町構想計画会議」を継続し、空き家対策や後継者問題、保存の三原則について取り組みます。
- 結のもつ意義（住民の絆・屋根葺き技術の継承）の上に立ち、合掌家屋保存組合と共働して結による屋根葺き及び茅刈りの奨励に努めます。
- ・センガ岩倉庫または共同車庫（要望書）の回答に対し、農業や除雪機械等景観と暮らしに必要な代替倉庫に向けた、新たな方策を協議します。
- ・舗装に替わる土凝固剤の使用や土面露出の景観について、継続して取り組みます。
- ・荻町交通対策委員会と連携し、世界遺産の景観と住民の安全な生活の観点から話し合いに参画し、世界遺産にふさわしい観光車両の誘導（自主規制）に取り組みます。

4. 「つなぐ」に関わる重点活動

- ◎ 守る会設立50周年記念事業に取り組み、50年の歩みを記録に残し、次なる50年につなぎます。
 - 白川郷学園「村民学（ふるさと学習）」の取り組みに、積極的に参画します。
 - ・寺口家の活用や会報紙ねそを有効活用し、女性や若者の参画につなげます。
 - ・全国の連携協力関係にある諸団体の行事（ZOOM）等に参加し、荻町住民及び守る会の保存活動をPRするとともに、荻町住民のさらなる活動への理解・認識の向上に努めます。
 - ・会報紙ねそやホームページ、SNS等を最大限に活用し、守る会の活動状況や景観保全の重要性を内外に広く発信します。
- （以上、4月定例会にて承認済）

※令和3年度守る会定例会開催日をお知らせします（葬儀や突発的な行事等で変更の場合あり）。

5月10日(月)、6月10日(木)、7月9日(金)、8月10日(火)、9月9日(木)、10月8日(金)、
11月10日(水)、12月9日(木)、1月19日(水)、2月9日(水)、3月10日(木)。

第27回かややね会議～茅の自給を目指して～・・・3月29日夜、見出しの会議がオンライン

にて開催され、村内外15名の方が参加されました。前はイベントとしての「かややねフェス」でしたので、純粋な意見交換の場は昨年7月以来。常連の方は「久しぶりにメンバーに会えて嬉しい」と口を揃え、共に同じ目標へ向かう中で人と人が繋がっていく。これもひとつの”結”の形であるように思いました。初参加の方もいらっしまったことから、会議冒頭では改めてかややねプロジェクトの説明があり、地域にとって大切なものを、より多くの人に関わって繋いでいくという趣旨と、それが白川村では「茅の自給」なのだということを再認識しました。同会議で話し合っている茅刈り2日目の企画（過去に、ミニにゅうづくり、茅染め、郷土芸能体験、屋根組み体験を実施）は、茅刈り自体にはアンテナが向けられていない人が、村に興味を持ってくださる可能性そのものです。これは村外支援者はもちろん



【茅ほうきづくりの様子】

村民にも当てはまることで様々な間口を創り出しより多くの村民が「茅の自給」に向けて心をついていくことが、村を次世代へ繋いでいくことなのではないかと感じました。

コロナ禍で村外支援者を招いての茅刈りが実現できなかった昨年。2日目に実施予定だった「茅ほうきづくり」も1年間計画を温めることとなりました。今年こそは、という思いを胸に、しかし茅刈りができなくてもオンラインで実施しようということになりました。コロナを理由に「できない」「やらない」ということはしない。新たな方法を見出し「茅の自給」に近づいていきます。そのために、かややね会議自体のPRを強化したいという話題が出ましたが、村でも同様に村民へ思いを届ける方法を、守る会だけではなく、荻町だけではなく、村民皆で考えていき、私自身も仲間をつくる努力をして参りたいと思います。

なお、次回かややね会議@ZOOMは、4月26日(月)19:00～開催です。村内参加者には、旧松井家会場も準備したいと思っておりますので、ぜひご参加ください。

【文責：福田】

令和3年度白川郷荻町集落の自然環境を守る会委員一覧			
選出部門	氏名	役職・所属部会	
選 挙	和田 正人	◇会長	
推 薦	今藤 建二	◇副会長	
推 薦	尾崎 達也	◇事務局長	
推 薦	野谷 信二	○合掌環境部長	
推 薦	川田 晋也	○一般環境部長	
推 薦	黒木 勇太	○企画部長	
旧寺口家	福田麻衣子	○総務部長	
中屋組	坂井 勇介	・企画部	
東上組	大泉 信吾	・合掌環境部	
東中組	藤坂 俊幸	・一般環境部	
東下組	渡辺 秀典	・合掌環境部	
西上組	高橋 智章	・合掌環境部	
西下組	寺口 啓淳	・総務部	
橋場組	中村 秀司	・一般環境部	
集落議員	上手 英二	・企画部	
大工組合	吉山 宏司	・総務部	
合掌組合	大田 忠広	・合掌環境部	
宿泊業	清水喜代美	・総務部	
土産品組合	滝 昌也	・一般環境部	
飲食店	松山 秀則	・企画部	
女性会	木戸口真希	・企画部	
女性会	川田 里子	・企画部	
女性会	矢野智代美	・一般環境部	
青年	松古 知之	・総務部	
合掌財団	大澤 珠生	財団事務局長	
合掌財団	原 卓也	財団事務局	
教育委員会	鈴口 雅彦	事務局長	
教育委員会	松本 継太	文化財担当課長補佐 設計士	

＝ 3月の活動報告 ＝

- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| 3月10日 3月定例会・役員会 | 3月23日 荻町構想計画会議(区長、役員 役場会議室) |
| 3月11日 ねそ3月号発行 | 3月25日 荻町交通対策委員会(会長 公民館) |
| 3月17日 白川郷学園6年村民学(会長 副会長) | 3月27日 村伝建審議会(会長 副会長 役場会議室) |
| 3月22日 現状変更に関わる現地調査(三役) | 3月27日 センガ岩倉庫入れ替え作業(一般環境部) |
| 3月23日 合掌財団理事会(副会長) | ※5月の定例会は10日(月)を予定しています。 |

☆ 4月の協議事項(現状変更申請に関わって) ☆

- | | | |
|------------------|------------------|---------------------|
| ***** 舗装工事 | ***** 庇トタン屋根葺き替え | 白川村・・・お天気カメラ設置の期間延長 |
| 白川村・・・みだし駐車場舗装工事 | ***** 墓周りの整備 | ***** 屋根修理 |
| 高山郵便局・・・ポスト交換工事 | ***** 板壁張り替え | ***** 仮設屋根設置 |
| ***** 解体工事 | ***** 車庫合掌建具取り替え | ***** 土間コンクリート打設 |
| ***** 既設建物撤去と新築 | ***** 住宅改築 | |